

日本顔学会 若手交流会

～今年で7歳になりました！これからもっともっと、成長していきます！～

応援団：
 ・立命館大学情報理工学部 陳延偉 教授
 ・明治大学総合数理学部
 先端メディアサイエンス学科宮下 芳明教授

若手交流会とは？

- ・「顔学の未来を築く若手による気軽な交流・議論の場」として2012年11月に発足した、日本顔学会の公認サークルです。
- ・同じ「顔」という対象に興味・関心を持ちながらも普段はなかなか接点を作ることができない異分野の若手研究者や顔に関わる実践家がメンバーとなり、定期的に活動しています。

活動内容

- ・既存の枠にとらわれない独創的な研究活動と、一般の人々に顔学の面白さを伝えるアウトリーチ活動を展開し、顔学を「深める」「広める」ことを目指しています。
- ◆定期交流会(年3回程度)
⇒交流会メンバーを講師としたワークショップ等を実施し、顔に関する議論や情報交換を行う。
- ◆有志活動(フォーラム顔学での成果報告年1回, 他不定期)
例) 研究・実践報告, 作品展示, 出張ワークショップ開催, 企業訪問等

最近の定期交流会

- ・第14回定期交流会(2017年11月26日(日)) @株式会社MTG東京支社
 ワークショップ「魅力顔を創る科学と技術」
 話題提供1：菅原徹氏(早稲田大学人間総合研究センター)
 笑顔の魅力工学～咲顔に勝る化粧なし！～
 話題提供2：加藤寿恵氏(株式会社MTG)
 表情美を実現する美容ブランド「ReFa」
 ⇒「魅力工学」という新しい研究分野から笑顔の魅力について研究されており、テレビCMにおいて魅力的な笑顔の監修も行った菅原先生と、そうした「素敵な笑顔」を生み出す表情筋に作用する美顔器ReFaを含むMGT社の美容補助ツールの効果を研究されている加藤先生にご講演いただきました！
 ⇒企業での交流会実施は2回目！東京駅を見下ろす素晴らしいロケーションでの定期交流会となりました。
- ・第15回定期交流会(2018年3月18日(日))
 ワークショップ『自然物からゴブリンをつくらう！』講師 小中大地氏(筑波大学大学院)
 ⇒ゴブリンとは、妖精のこと。小中先生は、身近なモノや風景をゴブリンにする活動をされています。最近では竜巻災害時のケア、若手県遠野の活性化といったまちづくり・まちおこしにかかわってあられたり、小児科、デイクアにおいてもものづくりを通じたコミュニケーションに取り組まれているそう。ワークショップでは、会議室から三四郎池の周辺まで、
 1) そこにある景色の中にゴブリンを作る、
 2) そこに落ちていた自然物を持ち帰ってグループごとにゴブリンを作り、完成したらフォトステージに置きゴブリンを撮影しました。自然物の歴史や、自然物の中に顔っぽく見えるものを探しながら歩くと、視点が変わり普段は見えてこなかったものが見えてきて面白かったです。
- ・第16回定期交流会(2018年7月22日(日))
 ワークショップ「顔印象を科学する
 -印象を測る・操作する技術の開発を目指して-」
 講師 中村航洋氏(早稲田大学理工学術院)
 を早稲田大学西早稲田キャンパスにて実施しました。
 ⇒中村先生は顔の魅力や印象について、最新の計算モデリングや脳科学の手法を使って検討しているとのこと。
 ⇒個人的には、意識に上らないくらい短時間で顔を呈示しても、魅力的な顔だった場合に美の処理に関わる脳部位が反応しているという研究や、恋人への熱愛具合が高いほど、相手の顔が「美化」されて見えるというご研究が面白かったです。

学会での活動(活躍?！)

- ・フォーラム顔学2017では、若手交流会の紹介ブース出展、メンバーの研究発表(口頭・ポスター)、若手交流会メンバーによる共同研究ポスター発表、懇親会余興を行いました



参加資格・会則・会員数

1. 自称若手であること
2. 自己紹介資料(右)の提出
⇒2点のみ、非学会員も参加可能

会員数：92名(9月1日段階)

2017/12/28 顔学会 若手交流会 自己紹介カード 会員 No. 1

名前：若手 太郎
 所属：日本顔学会 若手交流会
 運営委員
 (得意分野：もしあれば記入ください)

興味のあること：
 ・顔味のあること、自己アピールなどをここに自由に記入下さい。
 ・画像やイラストを貼り付けていただいても構いません。
 ・もし記入が難しい場合は、交流会事務局までご相談下さい。

運営委員会

- ・【代表】瀬尾昌孝(立命館大学)
- ・【副代表】牛山園子(フェイスストレッチング協会)
- ・【事務局】高橋翠(東京大学)
- ・前島 謙宣((株)オー・エル・エム・デジタル)
- ・福富大介(会社員)
- ・徐祝哲(千葉大学大学院)
- ・アシスタント：石切山順一(筑波大学)、安藤圭佑(東洋大学)
- ・定期的に委員会を開催して、活動内容や運営方針を議論しています。

広報媒体の整備

- ・ウェブサイトの作成
- ・フライヤー, 名刺(カード)の作成
- ・ロゴマークの作成



応援団(スポンサー)制度

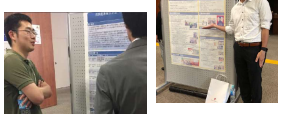
- ・若手研究者の交流・論議の機会を増やし、顔学の未来を築いていくための若手交流会の活動推進に向けた協賛制度(1年1口1万円)
- ・特典制度：発表資料やホームページ上への名前/ロゴ/バナー等の掲載、定期交流会への招待、各種資料(活動報告等)の共有、講演/ワークショップ/企画等への協力

有志活動

- ・異分野協働懇話会2018(若手キャンプセミナー)の共催
 ⇒2018年3月5日・6日に日本心理学会・日本基礎心理学会・ヒューマンインタフェース学会若手の会・日本顔学会若手交流会共催で異分野協働懇話会を開催し、研究発表・本会案内を行いました。



- ・日本学術会議主催 第3回若手科学者サミットへの参加
 ⇒2018年6月4日に日本学術会議講堂にて、各種学会の若手の会の交流・意見交換会に参加しました！
 ⇒ポスターセッションでは、徐さん・安藤さんが当会の活動を他学会若手メンバーに紹介しました。
 ⇒若手研究者による研究報告では、当会の推薦を受けた徐さんが見事発表者として選出され、ご自身の顔研究を他学会メンバーや日本学術会議関係者の前で発表しました！



- ・ループル美術館展ワークショップの運営補助

- ⇒2018年6月23日に三越日本橋本店「Hajimari no cafe」にて、ループル美術館展コラボイベント「ループル美術館の面白さ発見！」が行われ有志メンバーが運営をお手伝いしました♪

